

「何のために学ぶのか」「何のために働くのか」を考える
—高校・大学で学ぶべきこと、社会に出てなすべきこととは何か—

公益社団法人 経済同友会
幹事 林 明 夫

Q 1 : 今日の授業の目的は何ですか。

A : これからの高校生活で何を学ぶべきか、大学に進学してから何を学ぶべきか、大学等を卒業してから何をなすべきかを仕事や社会的活動、日々の生活の観点から考え、高校での生活を有意義に送るきっかけをつかむこと。

Q 2 : 学生のとくに好きだったことばを自己紹介代わりに教えてください。

A : (1) 「一所懸命」(一つの所で命を懸けるくらい熱心に取り組むこと)

(2) スポーツをして得られる 3 つの宝

- ・「練習は不可能を可能にする」
- ・「フェアプレー」
- ・「よき友」(小泉信三・慶應義塾塾長)



(3) 法学徒(法律を学ぶ学生)はいつも最悪の事態を予想して行動すること(峯村光郎先生)

(4) 「注意一秒、ケガ一瞬」(宮沢浩一先生)

(5) 「離見の見(りけんのけん)」(世阿弥)



Q 3 : 今どのような仕事や社会的活動をしていますか。

A : (1) 開倫塾 塾長(学習塾。栃木県、群馬県、茨城県)

(2) 有朋高等学院 理事長(福島市)

(3) マニー株式会社(手術用縫合針製造、一部上場)顧問、社外取締役(2004 ~ 2010 年)
(本社: 宇都宮市。現地法人: ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャン)

(4) 社会福祉法人両崖福祉会 特別養護老人ホーム清明苑 監事(足利市)

(5)開倫ユネスコ協会 会長(人間の安全保障 Human Security の推進が設立の基本理念)

(6)宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授

(7)CRT 栃木放送(ラジオ番組)「林明夫の歩きながら考える」担当、毎週土曜日 9:15 ~ 9:25 放送、29 年目

Q 4 : 仕事とは何ですか。

A : (1)すべての仕事にはお客様が存在。

(2)仕事とはお客様の問題を解決すること。

(3)お客様の問題を解決することで、お客様のお役に立つこと。

(4)お客様のお役に立つことで、社会のお役に立つこと。

(5)お客様の問題を解決できなければ、お客様のお役に立てず、仕事をしたことにならない。
社会のお役にも立てない。

(6)仕事とは顧客にとっての価値を創造すること(顧客価値創造) >



マーケティングの 4 P		顧客にとっての意味
・ Product	製品・サービス	顧客の問題解決
・ Price	価格	顧客の負担
・ place	場所・流通	顧客の利便性
・ promotion	広告宣伝・広報	顧客とのコミュニケーション

Q 5 : 人は何のために働くのですか。

A : (1)人はお客様の問題を解決することによってお客様のお役に立ち、お客様のお役に立つことにより社会のお役に立つため、つまり、お客様や社会のお役に立つために仕事をする、働く。

(2)お客様や社会のお役に立つ仕事をするすることで、生活できるだけの収入を得るために働く。

(3)「生活できるだけの収入」は、一人で得る必要はなく、生活を共にする「世帯」で得られればよいと私は考えます。

Q 6 : 社会に出てなすべきこととは何ですか。

A : (1) 仕事をしてお客様や社会のお役に立つこと。

(2) 社会的活動をして社会の課題解決のお役に立つこと。

(3) 自分自身が「自立」(→自律)して、「よく生きる」こと。



Q 7 : お客様の問題解決は社会の問題解決につながるのですか。企業活動とは何かも含めてお話しください。

A : (1) よい質問です。Good Question!!

(2) お客様は社会の激しい変化の中で活動し、生活していますから、激しい変化に対応する上で、一人では解決が難しい様々な困難にありとあらゆる場面で直面しています。同じような問題に直面しているのは一人だけでなく、日本のみならず世界中に存在します。お客様の問題解決が、社会の問題解決に直結する場合は数多くあります。

(3) 極めて公共性の高い課題は国や自治体、NGO や NPO が対処しますが、その境界はどんどん狭まっています。

(4) また、国境を越えての仕事や社会的活動も激増しています。外国の企業が日本で活動することもあるし、日本の企業が外国で活動することも増えています。

(5) ですから、仕事や社会的活動をするには、何がお客様の困っていることか、問題か、社会的課題かを世の中の動きを含めて調査・研究し続けなければなりません。

(6) また、仕事には国の内外に強力な競争相手が必ず存在しますので、先にお話した「マーケティングの 4P」の各ポイントごとの激しい競争に勝ち抜かなければなりません。

(7) 「人、もの、お金(資金)」も大事です。4P に配慮しながらの製品やサービスの開発と同時に、人財育成、リーダーや組織づくり、資金の準備や財務活動も欠かせません。

(8) 企業は社会の一員、社会的存在ですので、企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility)も大事です。

① 法令順守、社会的ルールの中での企業行動

② CO₂ 対策、フェア・トレード

③ 企業としての社会貢献活動

④ 社会的企業としての性格を強くすることも大事です

⑤ 雇用の維持、納税ももちろん求められます



(9) このように変化の激しい現代社会においては、企業に求められる活動は多岐に渡ります。

Q 8 : ところで、学力とは何だとお考えですか。

A : (1)「学力」とは「学ぶ力」であると私は考えます。「新しいことを自分から進んで学び続ける力」、これが「学力」です。

(2)学校でよい成績を取ったり、難しい学校への入学試験や、難しい国家試験などに合格したりすることは、それはそれで素晴らしいことと高く評価されるべきです。しかし、それは「学力」の一つの側面に過ぎません。

(3)新しいことを自分から進んで学び続ける「学ぶ力」が「学力」だと私は信じて疑いません。

(4)よく考えれば、皆様は小学校入学以来、中学校、高校と学校で毎日、毎日新しいことを学び続けています。大学に進学してからも、卒業するまでより多くの新しいことを学び続けます。大学を卒業後に大学院に進学してからも、新しいことを学び続けます。この新しいことを自分の力で学び続け、それを身に着けること、これが「学ぶ力」、つまり「学力」なのです。試験でよい点数が取れるのは、その結果に過ぎません。

Q 9 : 今までに学んできたことや、高校で今学んでいることは大学や大学院で役に立つのですか。社会に出て役に立つのですか。

A : (1)学校で今までに学んできたことや、高校で今学んでいることは大学や大学院ですべて役に立ちます。社会に出て仕事や社会的活動をするときにもすべて役に立ちます。生活をするときにも役に立ちます。死ぬまで役に立ちます。役に立たないことは何一つありません。

(2)ですから、中学校や高校の教科書や辞書、地図帳、年表などの副教材は学校を卒業しても捨てずに、いつも身近に置いて絶えず見直すことをお勧めします。

(3)高校や大学で学ぶことほど大切なことはありません。一生を通じてより深く学び続けることです。

(4)社会に出て仕事や社会的活動をスタートすると、仕事や社会的活動について学ばなければならないことが文字通り山ほど出てきます。普通、仕事を始めて 15 ~ 20 年位はその仕事について学び続けなければ、その仕事を極めることは難しい、専門家になることは難しいと言われます。

(5)中学校や高校、大学で学ぶことは、その基本中の基本とされています。



Q10 : 高校生として学ばなければならないことは何ですか。

A : (1)大学教育に耐えられるだけの基本的な学力を身に付けておくことです。

(2)受験科目は受験に合格すればよいなどというレベルではなく、高校で学ぶべきすべてをスミからスミまで正確に「理解」し、スミからスミまで正確に「定着」、身に着けた上でセンター試験で満点を狙うことをお勧めします。

(3)受験科目以外も予習・復習をしっかりと行って授業に臨み、しっかりと学習してください。

(4)入学する学校が決まったら、高校を卒業する日、つまり明年の3月31日まで高校時代によく学ばなかった科目を学校の教科書を中心にスミからスミまで丁寧にもう一度自分の力で学び直してから大学に進学してください。

(5)今、大学が問われているのは「質の高い大学教育」です。高校で学ぶべきことはすべて高校時代に身に着けていることを前提に、大学では高度な教育がなされます。「学力不足の大学生」には極めて厳しい状況が待っています。十分に気をつけてください。

Q11：これからの社会で求められる能力とは何ですか。

A：(1)「知識基盤社会(Knowledge Based Society)」
*知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力

(2)「グローバル社会」
*多様な集団で交流する能力

(3)「課題山積社会」
*高い志をもち「自律的に行動する能力」



Q12：これらの能力の前提は何ですか。

A：(1)「学び方を学ぶ力」を身に着けていること
* learning to learn

(2)「読書による思慮深さ」を身に着けていること
*「書き抜き読書ノート」を

(3)「新聞」を読んで「自分で考える力」、「批判的思考(critical thinking)能力」を身に着けていること
*「スクラップブック」を



Q13：この他に社会に出るまでに身に着けたほうがよいことは何ですか。

A：(1)図書館の使い方を身に着けていること

(2)ノートの取り方、活用の仕方を身に着けていること

(3)「5S」

- ①「整理」(seiri) 不要なものを捨てる
- ②「清掃」(seisou) きれいに掃除
- ③「整頓」(seiton) すぐにサッと出せるように、同じところに置く
- ④「清潔」(seiketsu) ①～③を継続
- ⑤「躰」(shituke) 自分から進んでやる、決めたことを守る



Q14：「躰」には別の意味もあるのですか。

A：はい、あります。

(1)敬語表現を含む言葉遣い

(2)美しい立居振舞い



Q15：最後に一言どうぞ。

A：(1)高校生は各科目の「古典」を一冊でも多く読むこと

*「教養」「人格」の基礎は「古典との時空を超えた対話」によって築かれる。

(2)高校で一番大事な科目は「倫理」

*「哲学の基礎」が「倫理」。一生かけて学び続けてください。

(3)「価値」「意味」「秩序」(松本澄夫先生)

(4)「教育ある人とは学び続ける人」(ドラッカー先生)

(5)「一生勉強、一生青春」(相田みつを先生)

(6)「健康第一(身体健康、心の健康)」

(7)自分や他人にあまり厳しくしないこと

以上

御清聴を感謝します。